

第2回検討部会意見取りまとめ

- ・ 高齢者の生活実態に対応した住宅防火対策のあり方に関する検討部会（第3回）

議事：住宅火災の実態データ集について

ご意見	回答
電気火災による死者数が増加傾向にある理由について	<p>明確な要因につきましては詳細な分析を行っていませんが、高齢世帯特有の傾向として、アンケート調査結果を踏まえすと</p> <p>①電化製品の長期使用による老朽化</p> <p>②コンセント等のほこりやタコ足配線等、電気配線等の不適当な使用による出火</p> <p>が大きな要因として考えられます。</p> <p>また、モバイルバッテリーなどの特定の製品自体からの出火件数も多く見られており、これらの製品安全性については、消防庁で収集している製品火災情報共有や国民への公表など引き続き対応して参ります。</p>
たばこに対する効果的な対策について	<p>加熱式たばこについては、先般、JIS規格も策定され、紙巻きたばこと比較して、出火危険性も低いことから、加熱式たばこへの切り替えについても推奨していくことを新たに考えています。</p> <p>従来より行っている、関係業界と連携した寝たばこをはじめとした、たばこ火災防止の啓発活動と併せて周知促進して参ります。</p>
電気ストーブに対する注意喚起の必要性について	<p>ご意見のとおり、ストーブについては、電気、石油等の燃料種別によらず可燃物等への接触などによる火災危険はあるため、誤解を招かないよう注意喚起を図っていく必要があると考えています。</p>
独居・非独居別死者数について	追加データのとおりお示しいたします。
ストーブを出火原因とした全国的な火災件数について	追加データのとおりお示しいたします。
「高齢者のいる世帯の独居・非独居別の状況と、高齢者の死者数」のグラフ資料について	追加データにて改めてお示しいたします。

議事：高齢者の生活実態等を踏まえた住宅防火対策について

ご意見	回答
<p>高齢者が参加する行事に消防職員が出席している防火防災研修の実施や、改善が見込めない高齢者に対する、消防職員と関係者が一緒に防火防災診断を実施するというような取組も加味した初期消火対策について</p>	<p>ご意見のとおり、消防が主催する防火防災訓練だけでなく、包括支援センター等の機関が実施する高齢者向けの行事や取組に積極的に参画することも重要な課題であると考えています。</p>
<p>包括支援センターへの働きかけについて</p>	
<p>屋内配線からの火災危険について</p>	<p>今後詳細な分析を実施しつつ検討を行う必要がありますが、屋内配線からの出火に対する維持管理は、その実施について困難性があるため、居住者が実施する防火対策である「7つのポイント」で提唱する内容には適さないものと考えています。</p>
<p>「いのちを守る 7つのポイント」の改正について（コンセントの清掃を追加した要因）</p>	<p>コンセントについては代表的な出火原因であり、かつ、日常的に火災予防対策が可能なものであるため、「7つのポイント」に掲げるにあたり、表現の制限上、代表的な対策として提唱しました。なお、改正案につきましては資料4でお示しします。</p>
<p>火災の拡大防止のための部屋の整理整頓について</p>	<p>資料4でお示しします。</p>
<p>防災品の普及等について</p>	<p>ご意見のとおり、引き続き、製造者側など関係団体等と連携し対応して参ります。</p>
<p>早期避難、再進入防止について</p>	<p>資料4でお示しします。</p>
<p>S i センサーコンロの表現方法について</p>	<p>資料4でお示しします。</p>